

平成 28 年 6 月 吉日

重要

お客様各位



6 月 28 日官報告示 新薬のご案内

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

熊本地方を中心に発生しております地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、1 日も早い復旧をお祈り申し上げます。

被災された地域のお客様においてお困りのことがございましたらご相談ください。

さて、2016 年 6 月 28 日に新薬告示されましたので、告示情報を案内いたします。今回告示された薬品を使用される場合、下記の内容をご確認いただき、必要に応じて薬品追加をお願いいたします。なお、マスタ提供予定日まで使用する予定の無い薬品につきましては、薬品追加の必要はございません。詳細は下記のとおりです。

敬具

記

《マスタ提供予定日》

NEXT のお客様	2016年7月1日(金)	マスタ早期提供サービス
	2016年7月7日(木)	配信アップデート

《告示情報》

8 ページ以降をご確認ください。

《作業手順》

薬品マスタ追加 …「薬品原本マスタの登録手順」(P2～)

薬品マスタ付け替え …「薬品コード付け替え手順」(P4～)

《ご注意》

今回告示された各医薬品がハイリスク薬に該当するかについては、厚労省ハイリスク一覧(特定薬剤管理指導加算等の算定対象となる薬剤一覧)が更新され次第、随時配信アップデートにてマスタを提供させていただきます。(更新内容は、マスタ履歴をご確認ください)

マスタの提供があるまでは、お客様の責任において設定をお願いします。

また、配信アップデートを適用しても、薬品マスタのハイリスクフラグは書き換えません。必要に応じて、ハイリスクフラグを設定してください。

薬品原本マスタの登録手順

- ① メニュー画面より、**マスタ登録(T)**⇒**調剤系**⇒**薬品登録**を選択すると、薬品一覧画面が表示されます。
- ② **F1**原本を選択します。薬品原本選択画面が表示されます。
作業前に1度、薬品原本マスタが存在しないか、コード検索してご確認ください。
- ③ **F2**追加を選択すると、薬品登録画面が表示されますので、必要な内容を入力してください。

薬品登録「1380040」

登録内容

薬品NO 0 種類 ① コード1 ② コード2 コード3

薬品名 ③ 力価 0 単位 ④

略称 ⑤ YJコード ⑥ 電算コード 0 ⑦

薬価 ⑧ 0 麻毒 なし ⑨ 表示色 表示期限

旧薬価 0 旧麻毒 なし 薬剤情報 有効期限

長期日数 0 長期日数 0 薬価収載日

常用量/日 0 常用量/kg 0 常備 計量加算 換算率 1

指 導 薬効分類

薬 袋 メーカー

一般名 発注先

薬効群

: 薬効群から除外

体質フラグ

0:妊婦 1:授乳 2:気管支喘息

3:消化性潰瘍 4:ピリン剤 5:ペニシリン剤

6:抗コリン作用薬 7:アトピー 8:卵

9:牛乳 A:全部

その他フラグ ⑩

0:別剤 1:指導加算 2:薬効 7:ハイリスク

3:フェック 4:結核

5:後発品 6:小児用

適用開始日 M321230 適用終了日 H621231

背景色が薄桃色の項目はF1薬価履歴またはF2別剤履歴から値を設定してください。

Esc 中止 F1 ⑪ 薬価履歴 F2 別剤履歴 F5 比較表 F6 一覧 F7 薬情 F8 登録

《必須項目》

- ①種 類 : 該当種類(剤形)を選択してください。
- ②コード1 : 処方入力時の呼び出しコードを入力してください。(濁点半濁点は除く。)
- ③薬 品 名 : 正式名称を入力してください。
- ④単 位 : 該当単位を一覧から選択してください。
- ⑤略 称 : 薬品名が複写されます。
- ⑥YJコード : 代替入力の場合は必須です。空白のままだと候補薬にあがりません。
- ⑦電算コード : 該当薬品の電算コードを入力してください。(レセプト請求時に必要です)
- ⑧薬 価 : 該当薬品の薬価を入力してください。
- ⑨麻 毒 : 該当する薬品は加算を選択してください。
- ⑩その他フラグ : 後発品の場合は、「5:後発品」にチェックを入れてください。
ハイリスク薬の場合は、「7:ハイリスク」にチェックを入れてください。
- ⑪薬価履歴 : 後発品・後発品あり・置き換え率の情報を入力します。
(次ページの④を参照ください)

- ④ **F1**薬価履歴を選択して、告示情報を元の後発品・後発品あり・置き換え率の情報を入力します。

電算コード	薬価	麻毒	後発品	後発品あり	置き換え率	開始日	終了日
0	0なし		0,	0,	0,	M321230	H621231

- 後発品欄では、下記のいずれかを選択してください。
 - 1.後・・・後発医薬品
 - 2.※・・・先発品と薬価が同等か高い薬品
 - 3.先・・・先発品
 - 4.他・・・生薬・漢方薬など昔からある医薬品
 - 5.準・・・昭和42年以前に薬価収載された医薬品のうち、価格差のある後発医薬品が存在する薬品
- 後発品あり欄では、世の中に後発医薬品が存在する薬品の場合に「1, ○」を選択します。
- 置き換え率欄では、下記のいずれかを選択してください。
 - 1.先無・・・後発医薬品がない先発医薬品
 - 2.先有・・・後発医薬品がある先発医薬品
 - 3.後発・・・後発品
 - 8.☆・・・後発医薬品と同額又は薬価が低い先発医薬品
 - 9.★・・・先発医薬品と同額又は薬価が高い後発医薬品

⑤ 更新履歴画面の情報を入力後、エンターキーでカーソルを送り、**F8**決定を選択します。

⑥ 薬品登録画面に戻ります。**F8**登録を選択してください。

⑦ 複数の薬品を登録する場合は、同様の手順で登録してください。

登録が終わりましたら、**ESC**終了を選択し、メニューに戻ります。

以上で作業は終了です。

※ 薬品の追加登録時に電算コードが不明であっても処方入力が可能です。電算コードが不明な場合は、電算コード欄は「0」のままで登録してください。

薬品を追加登録後、後日、電算コードが判明しましたら、下記の手順で登録してください。

NEXT メインメニューより、**マスタ登録(T)**⇒**調剤系**⇒**薬品登録**を選択して、該当薬品にカーソルを合わせ、**F4**修正⇒**F1**薬価履歴を選択した画面で電算コードを入力します。

薬品コード付け替え手順

※ この処理は、新薬を手動で追加したが、後日マスタ更新でその薬品が原本に登録された等の理由で1つの薬品に対して「追加薬」と「原本薬」の2つのマスタが出来てしまった場合にマスタを統合する処理です。

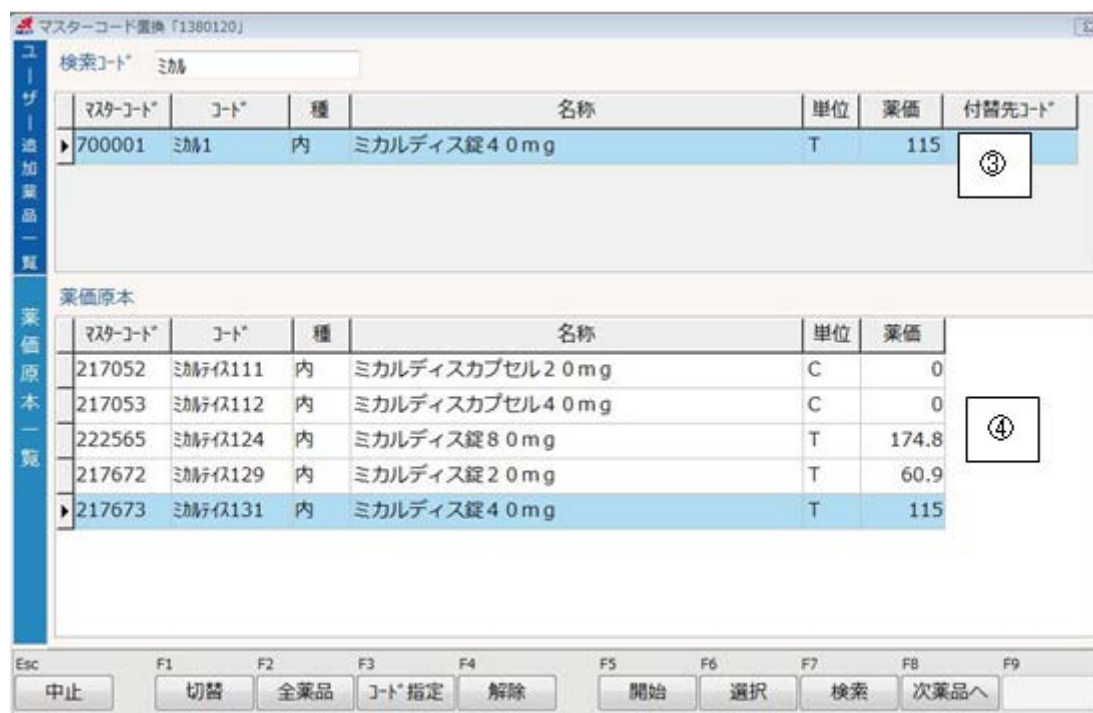
作業前の準備

- ★ 過去の処方データを書き換えます。**作業前に必ずバックアップを行ってください。**
- ★ 複数台でコンピュータをご使用の場合は、他の端末のNEXTを終了してください。
- ★ 追加登録した薬品に「ハイリスクフラグ」や「体質フラグ」に登録されている場合は、薬品原本の情報に更新すると登録内容が失われます。あらかじめ、設定をご確認いただき、付け替え作業後に再度設定してください。

2-1 マスタ登録画面でのコード付け替え作業手順

例) 薬品テーブル 薬品原本
 700001 ミカルディス錠40mg 217673 ミカルディス錠40mg

- ① メニュー画面より、マスタ登録(T)⇒調剤系⇒薬品登録を選択し、F10補助を選択します。「マスターコード置換」画面が表示されます。
- ② 画面が上下2つに分かれております。上側 追加薬品 / 下側 薬価原本



- ③ 変更したい薬品(ミカルディス錠40mg)に青いカーソルをあわせてF1切替 を選択します。
- ④ カーソルが薬価原本に移動しますので、F7検索を選択し検索コード欄に「ミカル」と入力してエンターキーを押します。

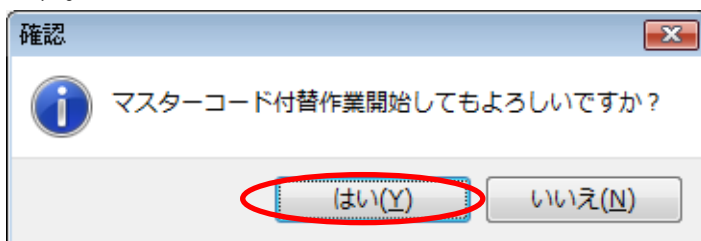
- ⑤ 薬価原本の「ミカルデイス錠40mg」にカーソルをあわせて**F6**選択を押すと下記画面になります。

マスターコード	コード	種	名称	単位	薬価	付替先コード
700001	ミカル1	内	ミカルデイス錠40mg	T	115	217673

付替先コード欄に「ミカルデイス錠40mg」の原本マスターコードが表示され、次の薬品にカーソルがあります。

薬価原本欄のマスターコードと付替先コードが同じ数字になっていることを確認してください。

- ⑥ 続けて他の薬品も行う場合は、③の手順から繰り返します。
- ⑦ 付替先コードがつかましたら**F5**開始を選択します。
「マスターコード付替作業開始してもよろしいですか？」→**はい**を選択すると処理が始まります。



- ⑧ 付替作業が終わると、薬品一覧画面に戻りますので**F1**原本を選択し、付替作業を行った薬品(ミカルデイス錠40mg)を検索し、もう一度、エンターキーで選択しなおします。

- ⑨ 薬品テーブルと薬品原本とで異なる情報があった場合は、下記メッセージが表示されます。**F3**全選択を選択し、すべてのチェックボックスにチェックが入っていることを確認し、**F8**決定を選択します。

※ メーカー名や一般名称などは、薬品原本の内容が薬品テーブルにコピーされます。

データ更新選択「1380010D」

更新前 更新後

種類 内服 → 内服

力価 0 → 40

表示期限 → H621231

有効期限 → H621231

本質フラグ → 0

その他フラグ 0:別剤 設定なし → 設定なし

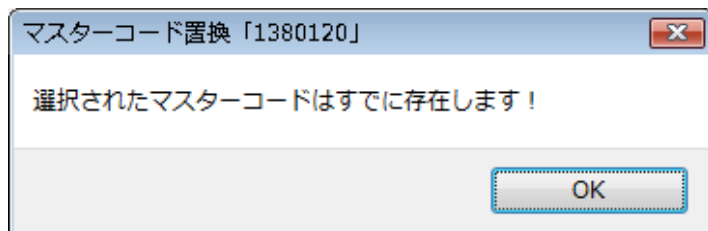
その他フラグ 7:ハイスク チェックOFF → チェックOFF

F3 全選択 F4 全解除 F8 決定

- ⑩ 他の薬品も付け替え作業を行った場合は、⑧以降の同じ作業を行います。

<ご注意>

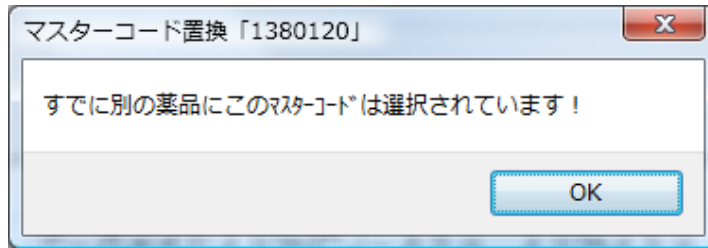
- 付け替えたい薬品(原本から薬品一覧にあげた薬品)が薬品一覧にあがっていると、付け替え作業が出来ません。



このメッセージが出ると、
付け替え作業できません。

追加薬品(70000番台の薬品)に表示期限や有効期限を当月末日で入力をして、以後使用しないようにしてください。

- 以下のメッセージが表示された場合は、「付替先コード欄」を確認してください。変更が必要な場合は、変更する薬品行にカーソルを合わせ、**F4**解除を選択します。「付替先コード欄」が空白になりますので、もう1度③からの手順を行います。



2-2 薬情文章と画像の登録手順

- ① メニュー画面より、**マスタ登録**→**調剤系**→**薬剤情報**を選択します。
- ② 「薬情薬品一覧」の画面が表示されますので、付け替え作業を行った薬品名を検索して**F4編集**を選択します。
- ③ 当社より提供している情報に更新する場合は、**F9リセット**を押してください。
F9リセットを押しても情報が入らない場合は、薬情文章や画像の情報提供が出来ていない薬品となります。申し訳ございませんが、お待ちいただくようお願いいたします。
文章が空白の場合は、文章を手入力するか、似た効能効果の薬品から複写作業を行ってください。
- ④ **F8登録**で終了です。

以上

種	電算コード	薬品名	単位	金額	後発品	後発品あり	加算	薬価基準コード	置き換え率
内	622507701	ゲンボイヤ配合錠	錠	6,942.10	先			6250109F1025	先無